

豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）（素案） に関する意見募集の結果について

平成25年(2013年)7月24日～8月14日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

(1) 集計結果

(1) 提出方法別提出人数と意見件数

| | 提出方法 | 提出人数(人) | 意見件数(件) |
|---|-----------|---------|---------|
| 1 | 郵便 | | |
| 2 | ファクシミリ | 4 | 28 |
| 3 | 電子メール | 3 | 10 |
| 4 | 所管課への直接提出 | 4 | 19 |
| 5 | その他 | | |
| | 合計 | 11 | 57 |

(上記以外に、計画案の内容とは直接関係のない意見はありませんでした。)

(2) 市民等の区分別人数

| | 市民等 | 提出人数(人) | 意見件数(件) |
|---|-------------------------|---------|---------|
| ア | 市の区域内に住所を有する者 | 10 | 54 |
| イ | 市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等 | 1 | 3 |
| ウ | 市の区域内に存する事務所等に勤務する者 | | |
| エ | 市の区域内に存する学校に在学する者 | | |
| オ | 市税の納税義務者 | | |
| カ | 意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの | | |
| | 合計 | 11 | 57 |

(上記以外に、計画の内容とは直接関係のない意見はありませんでした。)

(2) 提出意見の概要と市の考え方

| No. | 該当箇所 | 提出意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|----------------------|---|---|
| 1 | 表紙・裏表紙 (キャッチフレーズ) | 市民の好奇心に応える、人が寄り合ってくる、というくらいの軽いイメージで図書館を捉えて、それでいいのか。キャッチフレーズの必要性を感じないが、もしつくるのであれば、図書館はもっと人が生きる根源のところでサポートできるということを表現してほしい。 | 子どもから大人まで、どの世代にとっても好奇心が欠かせないものであり、生涯にわたって学び続けるエネルギーとなります。また駅は社会生活の基盤となる施設であり、そこを起点に異なるジャンルの本、多様な情報の世界への旅立ちをイメージしています。 |
| 2 | | 好奇心に対応するのは図書館機能の一部ではあるが、全容ではない。偏ったイメージを図書館自らが発信するのはもっての外、やはり言葉に便乗せず、一言一言誠意をこめて解ってもらおう努力を。サブタイトルだけで充分。駅は確かに情報等が集まる場、しかしそこには専門職を必要とする場のイメージはない。図書館のあるべき姿をゆがめかねない。 | さらに最近の「エキナカ」という言葉には、様々な物や人との出会いが可能な施設として、単なる通過点ではない駅の機能が含まれています。そのような多様な側面を持つ駅を活かすためには人の存在が必要であり、図書館においてはコーディネーター、マネージャー、エディターとしての司書の役割が不可欠と考えます。 |
| 3 | | 駅は多くの人が集う所ですが、立ち寄るイメージがあります。一時的に寄って去って行く、通過する場所。そこにつながるの深さはあるのでしょうか？図書館はもちろん好奇心を満たしてくれる場ではあります。しかしもっと生活に根ざして、あらゆる世代の人々の人生の役に立つところです。課題解決に利用する人も多いでしょう。もっと図書館をアピールできるキャッチフレーズであればと思います。副題はいいと思います。 | |
| 4 | | キャッチフレーズのことばもしっくりせず、いらないと思います。 | |

| | | | |
|---|-------------------------|--|--|
| 5 | 豊中市立図書館の使命と理念 (P. 2) | 赤ちゃんから高齢者まで、という表現ですが、この例示は年齢だけ意識してしまいます。市民の誰もが利用できる施設です、とした方がいいと思います。 | 図書館では保護者が乳幼児を連れての来館を躊躇されている場合も多く見受けられ、この表現としましたが、この例示が年齢を意識してしまうとのご意見を踏まえ「あかちゃんから高齢者まで」を削除します。 |
| 6 | 豊中市立図書館の基本目標 (P. 3) | 基本目標にある14の項目は、いずれも行政＝公共団体でしか実現できない公的な課題であり、およそ学校教育・社会教育に資する図書館事業は、そもそも指定管理者制度になじまない。とりわけ4.は「利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くし」とあるが、万が一「ツタヤ」等の民間事業者が図書館運営を担えば、個人情報が目的外利用に供される危険がある。そうでなくとも民間事業者による個人情報の漏洩は後を絶たない。プライバシー保護は、公共団体にこそ相応しい役割である。 | 図書館では個人情報の取扱については「豊中市個人情報保護条例」「図書館規則」「図書館の自由に関する宣言」等に基づき適切に行っておりますが、今後も利用者の秘密を守り、知る自由を保障していくことが重要であると考えています。 |
| 7 | 豊中市立図書館の基本目標 (P. 3) | 「優しい」という表記は適切でしょうか。高齢者や障害者等が利用しやすい配慮ある情報提供や読書環境を整備するのではないのでしょうか。ユネスコ公共図書館宣言には、すべての人が平等に利用できるという原則に基づいてとあります。障害者への優しさは、平等とは異なる発想だと思えます。 | ご意見を踏まえ「高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。」とします。 |

| | | | |
|----|--------------------------------|---|--|
| 8 | I. これまでの豊中市立図書館の取組み (P. 4) | 平成17年(2005年)3月の図書館協議会の提言「現状においては、本市の図書館運営への指定管理者制度の導入はなじまないものと思われる」の意見は正しい。「図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人をつなぐ出会いの場としての役割をはたすことをめざし、市民とともに歩んでいきます。」という姿勢こそが、市の運営する図書館と市民の関係性のあるべき姿であろう。 | 基本目標にありますとおり、今まで築いてきた市民・関係機関とのかかわりを大事にしながら図書館としての使命を果たしてまいります。 |
| 9 | I. これまでの豊中市立図書館の取組み (P. 4～) | タイトルがI.これまでの豊中市立図書館の取組み II.図書館をめぐる現状と課題 III.これからの豊中市立図書館 となっているのに、本文では、過去・現在・未来が混ぜこぜになっている。例えばタイトルIの中でも、～います。～いきま。今後も、というように。タイトルとその本文の時系列が合うように見直してください。せっきく過去・現在・未来とタイトルを分けてあるのですからそれに対応させてくださるか、タイトルに工夫するかのどちらかにしたらいかがですか。 | ご意見を踏まえ「これまでの」を削除し「豊中市立図書館の取組み」とします。 |
| 10 | | これまでの内容なのに P5●市民関係機関との協働した取組みの…の最後に …保障していきます。とあったり、 P5●学校図書館との連携…の最後に …学びを支えています。とあったり、 P6●利用状況…の最後に …目指す必要があります。とありこれからのことが書かれています。 | |

| | | | |
|----|------------------------------|--|--|
| 11 | I. これまでの豊中市立図書館の取り組み (P. 4~) | <p>これまでから現状と課題、めざす姿、目標の内容が重複している部分も多いので、それぞれ整理する必要がありますと思います。</p> <p>1.めざす姿と 2.目標も、同じことを言っているので分けなくていいのではないのでしょうか。</p> | <p>めざす姿を実現するための目標ですので重複する部分もありますが、記載する必要があると考えます。</p> |
| 12 | ●市民・関係機関との協働した取り組み (P. 4) | <p>「子どもと本をつなぐボランティア講座」や職員と合同でしているお話会などは含まれませんか？</p> <p>子ども読書活動推進計画に関わる取り組みに含まれているのかもしれませんが。</p> | <p>ご指摘の通り子ども読書活動推進計画の取り組みに含まれており、市民と協働した取り組みであると考えています。</p> |
| 13 | II. 図書館をめぐる現状と課題 (P. 6~) | <p>II. 図書館をめぐる現状と課題 タイトルと本文が整合性を欠きます。</p> <p>●豊中市の政策の 2 段目に既に人口のことが書いてありますので、ここに</p> <p>●豊中市の人口について簡潔に挿入するほうがすっきりします。また</p> <p>●豊中市の政策の中に、H25 年度の「新・豊中市行財政改革大綱」の取り組み・総括における図書館事業の見直しの件を入れる必要があると思いますが。これは現在の図書館の重要な施策であるのにここに書かれないのは不自然です。提案として、</p> <p>●豊中市の政策と図書館施策</p> <p>●図書館の課題</p> <p>この 2 つの項目にしたらいいと思います。</p> <p>最初の●豊中市の施策を→●豊中市の政策と図書館施策に変更し、囲みになっている<図書館の課題>の囲みを取って、</p> <p>2 つ目●図書館の課題 とし、そこに人口に起因する課題、市民にとって魅力的な図書館になるという項目を入れたらすっきりすると思います。"</p> | <p>ご意見を踏まえ、図書館の課題の囲み取り、「・地域課題やサービスエリアの住民の状況に対応した施設配置、効率的な図書館運営が必要です。・特色ある図書館、市民にとって魅力ある図書館づくりが求められています。」と課題に追加します。</p> |

| | | | |
|----|----------------------------|---|--|
| 14 | Ⅱ. 図書館をめぐる現状と課題 (P. 6～) | 現状のことのはずなのに、最後の文が「検討する必要があります」となっている。 | ご意見を踏まえ、課題の項目に整理して追加します。 |
| 15 | Ⅱ. 図書館をめぐる現状と課題 (P. 7) | <p>●豊中市の魅力 豊中都市創造研究所のこの研究の</p> <p>「市民の推薦する魅力的文化資源」の中には図書館が入っているし、教育機関が充実しているがランキングに入っているのに、どうして「豊中市の魅力とは何か」の項目だけ書いてあるのでしょうか？</p> <p>図書館は教育機関ではないのですか？もっともっと魅力的になろうという書き方で両方併記をお願いします。また、この内容は項目に立てず、課題に入れてしまってもいいと思います。</p> | ご意見を踏まえ、「・・・市の魅力であると一定程度感じました。」の次に以下の文章を加えます。「また、『(仮称)豊中市文化芸術振興地域推進プラン策定に係る現状把握調査報告書』平成23年(2011年)3月発行の調査結果の中で、市民が「推薦する市内にある魅力的な文化資源」の4位に図書館があげられています。」を加えます。 |
| 16 | Ⅱ. 図書館をめぐる現状と課題 (P. 7) | 課題がく　　書きはおかしいと思います。他と同じように太字でするべきではないでしょうか。 | ご意見を踏まえ、囲みを取り太字に変更します。 |
| 17 | Ⅱ. 図書館をめぐる現状と課題 (P. 7) | <p>課題のとらえ方がおかしい。市民が気になる図書館の課題は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中図書館の使命と理念に基づいた適正な人事でないこと。 ・職員の現状認識と改革意識が薄いこと、特に組織として。 <p>この項目の中で課題だけがなぜカコミなのか。</p> | 本計画を策定するなかで組織としての課題を職員間で認識する機会になったと考えております。今後も図書館職員が図書館の使命を意識し、組織全体として課題解決を進められるよう、人材育成の取組みを進めてまいります。またご意見を踏まえ、課題の囲みを取ります。 |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 18 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 1. 図書館のめざす姿 (P. 8)</p> | <p>これまでも力を入れてきた、子ども読書活動推進や学校図書館への支援も、この項目の中できちんと位置づけ、今後10年さらに充実していくべき。子どもたちの学びを支え、青年期、壮年期、高齢期の学びを支え、そしてその学びを社会に還元する場を提供することが重要。</p> | <p>ご意見を踏まえ、P. 8の「自立と学びをささえてきました・・・」の後に「特に市民との協働により乳幼児からの発達段階に応じた読書環境整備を「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づいて進めてきました。」と加え、その後「今後はこれらのサービスを含む基礎的サービスの・・・」とします。</p> |
| 19 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 1. 図書館のめざす姿 (P. 8)</p> | <p>(図書館登録率) 図書館がめざす姿としては「若年層とリタイア世代への・・・」ではなく、「全ての市民(そこまでが言い過ぎなら「より多くの市民」)に必要と認知される図書館」としたほうがいいのではないか。その指標として登録率を上げることをめざす。その手法として、当面、登録率の低い世代への働きかけを強めるということはあるだろうが、今後10年若年層とリタイア世代へのサポートに重点を置くことをめざすというのはどうかと思う。</p> | <p>公共図書館としてより多くの市民の方に利用されること、登録率を上げることは図書館の基本姿勢と考えております。本計画では図書館サービスの認知度が低く、登録率の低い世代へのサービスに力点を置くことが重要と考えています。P. 15の「G、サービス」で掲げているプランを、優先順位を定めて着実に実施していき、利便性の更なる向上を図ります。また、外部評価においても工夫の必要があるご意見をいただいた図書館の情報発信・PRについてもより積極的に行い、市民それぞれのニーズにあった資料情報の提供が可能であることを周知していきます。様々な図書館事業や取組みを広めることで、図書館利用者の拡大をめざします。</p> |
| 20 | | <p>図書館登録率40%→60%は、資料費が現在の状態では無理ではないですか？実現可能な数値目標なのか再考してください。</p> | |
| 21 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 (P.9 参照 P.6,P.7)</p> | <p>(I (P6) L5 II (P7) 枠内 III (P9) 最終行) 左の部分に登録率アップを目指す旨の記述がありますが、グランドデザイン4つの目標及び28のプランからは、登録率アップにつながるものか見えてこないと感じました。</p> | |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 22 | Ⅲ. これからの豊中市立図書館 1. 図書館のめざす姿 (P. 9) | 登録率は図書館利用を促進し、サービス浸透の指標ではあるが単なる数字ではなく意味のある数字を。10代後半から30代にかけての登録率を上げることは、今と未来の社会を作り、その世代が高齢期になっても図書館を有効に使っていくという意味がある。又、不特定の市民を当てにするよりもまず市職員全員に登録してもらうことに意味あり。60%にあげるには図書費増抜きには考えられない。 | 学校図書館での体験を生涯にわたる学びの循環につないでいくために、10代後半から30代の市民の図書館利用を促進することが喫緊の課題と認識しております。 行政支援サービスを通して研修の機会などに図書館の資料の活用の推進に取り組んでいるところです。またこれらの取組みを充実させていくために、図書費の確保に努めてまいります。 |
| 23 | Ⅲ. これからの豊中市立図書館 1. 図書館のめざす姿 (P. 9) | 内容が現状のことであり…。 | めざす姿をしめすにはサービス指標である登録率の現状分析も必要と考えます。 |
| 24 | Ⅲ. これからの豊中市立図書館 1. 図書館のめざす姿 (P. 9) | 30代、40代では若干上がり、50代以降は…の書き方は表記が曖昧で分かりにくいです。 | ご意見を踏まえ数字を明記し「平成23年度(2011年度)、10代では78%、20代は40%、30代・40代は若干あがり47%、50代以降は年齢を追うごとに下がり34%、60代の登録率は32%となっています。」とします。 |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 25 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 1. 図書館のめざす姿 (P. 9)</p> | <p>「これからの豊中市立図書館」の項目の中の3つ目、9ページのところに使われているリタイア世代という言葉にひっかかります。一般的に用いられる言葉なのかもしれませんが、普段使うリタイアというとあまりいい印象がありません。指し示す世代はよく分かりますがもっと良い言い方はないでしょうか。また、図書館登録率が枠でくり字が大きくなっていますがどうしてでしょうか。この数字が大切なのは分かりますがこれだけ突出している様に感じます。</p> | <p>職種によってリタイアされる時期が様々であり、また個人差もあることから、60代の前半、後半および70代も含めて一定の余暇を活用できる世代としてこの表現を使用しています。</p> |
| 26 | | <p>リタイア世代という表現は対象年齢が曖昧であり、年齢別で表記するところでは使わない方がいいのではないのでしょうか。</p> | |
| 27 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 2. グランドデザインの4つの目標 (P. 10)</p> | <p>①～④のタイトルには支えます、提供します、としながら各々の内容には検討しますがが多い。(6/15)。「検討の末実施出来ませんでした」となった時、計画の信憑性が問われるのでは。</p> | <p>本計画は今後10年の中長期計画です。図書館は目標にそった取組みを段階的に優先順位を定めて実施し、目標を達成するよう努めます。</p> |

| | | | |
|----|--|--|--|
| 28 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 2. グランドデザインの4つの目標 (P. 10)</p> | <p>いちばん上に使命・理念、2段目に基本目標があるが、使命・理念、基本目標はこのグランドデザインの土台をなすのではないか。「めざす姿」はどこに位置づくの。これではイメージがわからない。このイメージ図はいらない。</p> | <p>一般的に使命・理念はピラミッド図の場合一番上に置くものとされていますが、下から上へ向かう段階的な上昇を示す図として使うこともあります。ご意見を踏まえ本計画では矢印を加え使命・理念にもとづく目標・プランであることを明確にします。</p> |
| 29 | | <p>グランドデザインのイメージ図はおかしいと思います。土台にプランが28あって、それを実行すると4つの目標が達成できて、それが達成できたら基本目標が達成できて、最後に使命・理念が達成できるというこのようなピラミッド型のイメージは違うのでは？</p> <p>使命・理念が基礎にあって28のプランが出てきたのではないのですか？</p> <p>サイクルのようなイメージがぴったりだと思います。日頃の図書館活動が常に立ち戻るところが使命や理念、基本目標であり、28のプランに繋がり…というサイクル・イメージ図の方が良いと思います。</p> <p>型にはまったイメージ図は不必要では？</p> | |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 30 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 2. グランドデザインの4つの目標 (P. 10)</p> | <p>本表 使命と理念が土台にしっかりとあり、その実現のために目標を立てプランをつくるもの。この図から受けるイメージは、28のプランをたてると目標があきらかになり、使命、理念が実現出来ると受けとめられる。それではこの素案の構成と異なる。解りにくくするイメージ図は不要。</p> | <p>一般的に使命・理念はピラミッド図の場合一番上に置くものとされていますが、下から上へ向かう段階的な上昇を示す図として使うこともあります。ご意見を踏まえ本計画では矢印を加え使命・理念にもとづく目標・プランであることを明確にします。(28・29の考え方と同様)</p> |
| 31 | | <p>グランドデザインの4つの目標の項目のところでもちいられているイメージ図のピラミッドの形が変な誤解を生むのではないかと思います。また土台になるのが28のプランではなく理念が土台になるのではと思いました。</p> | |
| 32 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン (P. 12)</p> | <p>「業務の実施主体の見直しも含め」とあるのは、民間の導入も検討するということだと考えるが、図書館の使命・理念に基づいて図書館の機能を果たしていくことは、公共が責任をもって実施しなければ実現できない。 仮に民間でコストダウンができたとしても、図書館の機能を考えたときに、それが本当に「効率的な」運営なのか疑問だ。 直営で省力化とパフォーマンスアップにより「効率的・効果的」な運営をはかるべきだ。</p> | <p>図書館はサービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくために、資料の運搬業務等、一部図書館業務を外部に委託し経費の最適化に努めています。今後も図書館としての使命を意識し、長期的な視野に立ち本計画を基本として、サービスの向上発展をめざした効率的・効果的な運営を進めていきます。</p> |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 33 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン (P. 12)</p> | <p>豊中市立図書館の使命と理念に基づく基本目標は、営利を目的としない公共機関の使命として社会的弱者を含めたすべての市民にサービスすることを表しているので評価。しかし、P.12 3-A①に業務の実施主体の見直しも含め…とある。営利を目的とする民間企業に非効率的なサービスを求めることに無理があり、理念と具体的に矛盾がある。</p> | <p>図書館はサービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくために、資料の運搬業務等、一部図書館業務を外部に委託し経費の最適化に努めています。今後も図書館としての使命を意識し、長期的な視野に立ち本計画を基本として、サービスの向上発展をめざした効率的・効果的な運営を進めていきます。(32の考え方と同様)</p> |
| 34 | | <p>実施主体の見直しも…とありますが… 図書館ですか？教育委員会ですか？どちらにしても主体の見直しは考えられません。省いてください。</p> | |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 35 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン (P. 12)</p> | <p>図書館に「効率」や「経営」という言葉はなじまないように思います。効率的に行うと、切り捨ててしまう部分が出てくるのではないのでしょうか。蒔いた種が実るのに時がかかることもあります。例えばブックスタート事業などは、今は種まきの時期だと思います。60代の登録率が悪いのは、60代の1人として、振り返ってみると種まきされてこなかったことも要因の一つではとったりします。答申に言う「全国モデルとなる『学びのまちづくり』」を実現させるには、今まで図書館を中心につちかってきたネットワークやノウハウなどが必要だと思います。「効率」良く「経営」する為に、業務の実施主体が変われば、それらは、途切れると思います。会社のように効率良く経営しにくい業務をになう図書館は、市の自前であるべきではないのでしょうか！</p> | <p>図書館はサービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくために、資料の運搬業務等、一部図書館業務を外部に委託し経費の最適化に努めています。今後も図書館としての使命を意識し、長期的な視野に立ち本計画を基本として、サービスの向上発展をめざした効率的・効果的な運営を進めていきます。(32の考え方と同様)</p> |
| 36 | | <p>どういことでしょうか？ 実施主体は市が責任をもってやり通して欲しいと思います。効率を求め、安易に業務を委託となれば、この計画そのものがあやうく思われます。</p> | |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 37 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン (P. 12)</p> | <p>10年間の中長期計画であれば、その間細目の実態は変わってくるかもしれない。細目は図書館内部の評価項目として残し、計画では項目だけでよいのでは。報告等事務処理に追われ本来の業務に影響を及ぼすのでは。</p> | <p>本計画を着実に実施していくために、プランの項目に加えて内容の具体的な提案が必要と考えます。プランを実施する際に、この内容を検討しより効果的に進めてまいります。</p> |
| 38 | | <p>・の黒ポチは、今までしているものも、あるのではないのでしょうか。書く必要があるのでしょうか？いちいち黒ポチの説明がいらぬものもあり、小文字の a.b も分ける必要がないと思います。細かく分けすぎて読み辛いです。</p> | |
| 39 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン (P. 12)</p> | <p>なぜ常勤にこだわるのか。常勤であれ非常勤であれ、司書資格を持つ専門職であるはず。市民には常勤・非常勤の違いは解らない。能力のある非常勤にも責任を伴う役割と一定の経験と試験を経て常勤になる道を拓くことが、職員の能力アップとサービス向上につながる(すでに実施している自治体あり)。非常勤で採用して正規に切りかえることでコストダウンを。</p> | <p>本計画でも記述していますが、図書館では司書資格を持つ専門職の役割が重要であると認識しております。ご意見にある具体的なご提案に関しては豊中市の人事制度にのっとり行われることであり、図書館独自の対応は困難と考えます。図書館で働くすべての職員がそれぞれの能力を発揮しサービスの向上に努めます。</p> |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 40 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン B 職員 (P. 12)</p> | <p>フロアマネージャーの配置は良いことだと思います。が、その下の人的資源の重点化は意味が分かりにくいです。</p> | <p>役割に応じた職員の配置をより進めていくことを意味しています。</p> |
| 41 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプランB職員 (P. 13)</p> | <p>現在の豊中市立図書館では様々な待遇の人が常勤同様に専門職としての力を尽くして働いています。その経験を積んだ人たちが常勤に移行できればと思います。</p> | <p>本計画でも記述していますが、図書館では司書資格を持つ専門職の役割が重要であると認識しております。ご意見にある具体的なお提案に関しては豊中市の人事制度にのっとって行われることであり、図書館独自の対応は困難と考えます。図書館で働くすべての職員がそれぞれの能力を発揮しサービスの向上に努めます。(39の考えと同様)</p> |
| 42 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン B 職員 (P. 13)</p> | <p>その他に、通常の活字資料では利用できない方々のための媒体変換を要するサービスも、専門性を必要としていると思います。高齢者の為の拡大字、音声、ろうの方々の手話、学習障害の方のマルチメディアデイジー、LLブックなど。PCを使ったテキストデータなど、どんどん新しい研修が必要と思います。</p> | <p>平成25年度より視覚障害者総合ネットワーク(サピエ)に加盟し、デイジーなどを中心としたサービスの充実に努めているところです。ご意見をふまえ、特定分野の後ろのかっこ内を(児童サービス、YAサービス、レファレンスサービス、障害者サービス等)とします。</p> |

| | | | |
|----|---|---|--|
| 43 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン C 施設・物流 (P. 14)</p> | <p>弱者という表記も適切ではないように思います。 上記の項と同じ主旨です。通常の図書館利用には困難もしくは障害がある人々を支援するのではないかと思います。</p> | <p>ご意見をふまえ「また、支援学校や児童発達支援センター、保育所など、通常の図書館利用が困難な市民を支援するサービスとしても大きな役割を果たしており、」とします。</p> |
| 44 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプランG サービス (P. 15)</p> | <p>開館日数の拡充が、資料点検期間の短縮によるものだけでも読めます。そうだとすれば、開館日数の拡充として不十分と思います。</p> | <p>開館日数の拡充については、資料点検期間の短縮や祝日開館の拡大等も含めて検討してまいります。</p> |
| 45 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプランG サービス (P. 17)</p> | <p>サポーターは募るものではない。職員の汗を流す姿に動かされて市民の自発的行為としてサポーターになるのが本来のあり方。基本を間違えると、市民に失礼であり、市民との協働はなり得ない。</p> | <p>図書館での活動を希望される市民への機会の提供も必要だと考えますので下記のとおり修正します。「図書館サポーターへの参加機会の提供を行います。」「活動を通じて図書館への親近感、やりがいや生きがいを感じられる機会とします。」「図書館内の飾りつけや本の修理、図書館のPRなどの活動の機会と場の提供を行います。」</p> |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 46 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン H 広報 (P. 17)</p> | <p>キャッチコピーのシンボルマークやイメージカラーが必要か？それで利用促進につながるのか？もっと、図書館本来の魅力をわかりやすく伝える方法を考えるべき。</p> | <p>現在図書館をお使いになっていない市民の方も含めて幅広く図書館の存在をアピールしていく必要性から、図書館では広報活動に取り組む必要があると考えており、検討を始めています。今後はさらに効果的に広報を行います。</p> |
| 47 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン H 広報 (P. 17)</p> | <p>17ページの広報の項目でキャッチフレーズやシンボルマーク、イメージカラーを決めるとありますがそれだけでは意味がないのでそれをどのように広報活動にいかしていくのかをもう少し踏み込んで書き込めないかと思いました。</p> | <p>図書館ではさまざまなチラシやポスター、ウェブページをすでに作成していますが、図書館としての統一感を形成するためにキャッチフレーズやシンボルマーク、イメージカラーが必要だと考えております。</p> |
| 48 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 3. グランドデザインの28のプラン H 広報 (P. 17)</p> | <p>情報弱者への支援は大事だと思います。方法の一つとして、電子媒体以外の手段も必要かと。機械から情報を取り込めない人もいます。機械による検索ができない人もいます。気軽に司書さんに尋ねられると図書館に足が向くのでは…。</p> | <p>電子媒体や機械で情報を入手することが困難な方への支援についても、司書がサポートすると共に、図書館の果たす役割についても、広報を効果的に行うよう努めます。</p> |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 49 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館</p> <p>3. グランドデザインの28のプラン</p> | <p>これからの図書館は「地域や住民に役立つ図書館となり、地域の発展に欠かせない施設としての存在意義を明確にすることが求められています」という。この目標を実現するために、安易に指定管理者制度に向かうのではなく、館長以下、職員自らが、地域住民の視点に立った革新的行動を起こすことを期待する。28のプランの羅列よりも、1つの実行が待たれている。総花的な表現もよいが、まずこれが重要という、優先順位とその実行プログラムといつまでにそれをやるかの具体的スケジュールがないと計画を書いただけに終わり、計画を書くこと自体が目的化してしまう。</p> | <p>すでに28のプランの中から取り組みを始めているものもあり、優先順位をつけながら図書館サービスの充実を進めてまいります。</p> |
| 50 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館</p> <p>4. 図書館職員の行動指針と求められる資質・能力(P.18)</p> | <p>●求められる資質・能力 「特に常勤職員に求められる」と、限定的なのはおかしいです。</p> <p>市民にとっては誰が常勤で誰が非常勤なのか判別できないうえに、基本的にどの職員にも求められる資質としなければいけないと思います。</p> <p>そうした上で、これからの職員に欠かせない能力であるコミュニケーション能力を項目に入れてください。このコミュニケーション能力は「街からまちへ」という行動指針の基本的能力として欠かせないからです。</p> <p>支援するよりも協働することがより求められるので、対等に話し合いができるという意味で、コミュニケーションをとれる人材がより重要になると思います。</p> | <p>P.12の職員の役割分担の項目と関連しますが、長期的視野に立ってサービスを構築していくことは、特に常勤職員に求められる役割と考えています。図書館で働くすべての職員について、それぞれの役割を明確にしていくことが必要であり、役割に応じた研修を行うことで各職員の能力の向上を図ってまいります。コミュニケーション能力については、すべての職員に必要な基礎的なものとして研修も実施しており、今後も継続して向上に努めます。</p> |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 51 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 4. 図書館職員の行動指針と求められる資質・能力(P. 18)</p> | <p>"「・求められる資質・能力」のところ 常勤職員とそうでない職員について意見があります。非常勤職員が常勤職員になる道をつくる必要があります。やる気も能力もある人に機会をつくることは、豊中市にとってプラスです。すでに道をつくった他の自治体があるので、できないはずがないと思います。"</p> | <p>本計画でも記述していますが、図書館では司書資格を持つ専門職の役割が重要であると認識しております。ご意見にある具体的なお提案に関しては豊中市の人事制度にのっとって行われることであり、図書館独自の対応は困難と考えます。図書館で働くすべての職員がそれぞれの能力を発揮しサービスの向上に努めます。(39・41の考え方と同様)</p> |
| 52 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 4. 図書館職員の行動指針と求められる資質・能力(P. 18)</p> | <p>やる気があり、改革のためにリーダーシップを発揮できる人を登用する人事をしてください。 デザインができて実施するのは人です。絵に描いた餅にならないようにしてください。</p> | <p>図書館の使命を実現していくため市の豊中市人材育成基本方針を基本とし、研修の充実、適切な人員配置など図書館サービスのかなめとなる職員の育成を進めてまいります。</p> |
| 53 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 4. 図書館職員の行動指針と求められる資質・能力(P. 18)</p> | <p>職員の資質の大事さはもちろん必要なのですが、これだけを別に取り上げているのは、唐突でおかしいと思います。</p> | <p>本計画を実施していくにあたり、職員が意識改革をすると共に行動指針、資質について明確にすることが必要だと考えております。</p> |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 54 | <p>Ⅲ. これからの豊中市立図書館 5. グランドデザインを進めるにあたって (P. 19)</p> | <p>6. グランドデザインを進めるにあたって、のこの2段落目、「指定管理者の導入については、開館日数や開館時間の延長と言った効果や人件費などの管理経費の縮減があげられています。」と書いてありますが、これは答申の文脈を無視し、この部分だけ故意にピックアップしている印象を受けます。答申には指定管理者導入のメリットとデメリットが整理されて併記して書かれています。メリットに「管理経費縮減に効果がある可能性」という項目はありますが、「開館日数及び開館時間の延長」については、指定管理者制度導入のメリットの項目としては書かれていません。それを書いた箇所は、協議会答申の P.3 の「6. サービス水準の向上及び利便性の向上」の中にあって、開館日数や開館時間の延長・返却ポイントの拡充に取り組む必要がある、と書いてあります。現実と違う記載があるのは納得ができません。もう一度協議会答申と照らし合わせ、必ず間違いのないようにしてください。</p> | <p>ご指摘のとおり、平成25年6月の協議会答申においては、「管理経費に縮減の可能性」とあり、文面上は「開館日数や開館時間の延長という効果」の表現は存在いたしません。ただし、先行した指定管理導入館ではおもに人件費を中心とした経費縮減により、開館日数を拡大し、開館時間を延長している事例がみられます。そこで、3段落目以下を次の文章に改めます。「図書館ではこれまで、子どもが生涯を通して学び続ける基礎づくりのための公共図書館と学校図書館の連携、地域の課題解決に向けた市民との協働や関係部局との連携および支援、市民が学びの成果を発信し、地域に還元していく場づくりなどに取組み実績を積み上げてきました。</p> <p>しかしながら、今日の図書館の状況をあらためて見つけ、中長期的に「地域の知の拠点」としてステップアップするためには、さまざまな課題があります。</p> <p>また、指定管理者制度の導入については、開館日数や開館時間の延長と言った効果や人件費などの管理経費の縮減があげられていますが、これらの効果についても着実に進めていく必要があります。・・・」</p> |
| 55 | 全般 | <p>中長期計画において、市として指定管理者制度(部分委託含む)をどう考えるか示されておらず、市民に対する説明として不十分だと思います。</p> | <p>ご意見を踏まえ P. 19 の最終段落を以下のとおりとします。「今後グランドデザインを実行するために、市民力を活かした管理運営、他の施設と一体的な管理運営、外部委託など地域や施設の特性を踏まえた新たな管理運営体制の構築に向けた検討を進めます。そのことにより地域に根付き、地域とともに成長してきた本市図書館の成り立ち、市民の参画と協働のもと様々な事業を行ってきたこれまでの実績などを踏まえつつ、積極的に改革にのぞみより効率的・効果的な図書館経営を図ってまいります。」</p> |

| | | | |
|----|----|---|--|
| 56 | 全般 | <p>3つ意見します。(希望に近いものです。)</p> <p>1. 図書館司書ならではのおすすめ本の選定とPR (ポップ) 掲示 学校では教わりえない読書の仕方に関する指南 古典的名著といわれるものに関する紹介</p> <p>2. デジタルコンテンツ (電子書籍) の活用 PC、スマートフォン、タブレットで読むことができる電子書籍貸与システムの構築 読みたいときに読みたい本が借りれる、読める (新刊などは、難しい面もあるかもしれないが・・・)</p> <p>3. 他市、都道府県図書館との一層の連携拡充 豊中市立図書館では保有していない本を豊中市立図書館を通じて借りる、読むことができる 逆に他市ではない本を豊中市立図書館から提供する</p> | <p>1. 図書館では様々な本の紹介を行っています。なかでも毎年1館1テーマの本の特集では、全館順番に回す「企画巡回展示」を実施し、本のリストを配布しています。今後も積極的に展示や紹介を行っていきます。2. 電子書籍の導入については、導入している他市図書館の利用状況等を参考に検討していきます。3. 他市、都道府県図書館との相互の貸借は以前から実施しています。今後は身近な窓口である市立図書館を通して多様な資料の利用が可能であることを周知していきます。</p> |
| 57 | 全般 | <p>他市に引っ越した知り合いに豊中の良さを聞いたところ、「税金高いし、図書館ぐらいいかな。」の返事でした。身近な図書館は豊中の良いところいっぱいでした。この良さがさらに発展して継続していくよう願います。</p> | <p>今後も豊中市立図書館の良さを発展させ、市民にとって身近な魅力的な図書館をめざします。</p> |